

令和2年10月7日

当院における新型コロナウイルス感染者の発生について（第18報）

鈴鹿厚生病院
院長 中瀬 真治

令和2年9月2日、当院において新型コロナウイルス感染者が発生いたしました。患者さま、職員の健康観察を行いながら、適宜PCR検査を実施しております。この度、9月10日に陽性が判明し、県内の医療機関での入院加療を終えた職員1名（看護師）が再度陽性と判定されました。当該職員は退院後、自宅待機をしていたことから、一度も出勤しておりません。退院解除はされたものの、以前に感染したものが影響して、再感染ではなく、検査で再陽性を示したものと考えております。新規陽性者としましては、合わせて入院患者55名、職員14名に変わりありません。

当院において、クラスターが発生する事態となり、患者さまやご家族、地域の皆様には多大なご心配、ご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

診療につきましては、行政の指導のもと、外来（初診）およびデイケアセンターの休止、入退院の制限等を行っています。通院中の患者さまにはなるべくご不便となりませんよう、問診や電話を用いた処方などで対応させていただきます。

皆様には多大なご心配・ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。